



## 高田短期大学 本年度の取り組み

学長 栗原 廣海



まず最初に、三月十一日の東日本大震災で尊いのちを亡くされました皆様に衷心より哀悼の意を表させていただきますとともに、避難生活を余儀なくされ、現在もご苦労されている皆様に心よりのお見舞いを申し上げます。

震災によって大幅に授業の開始を遅らせる大学・短大が続出しましたが、本学は、予定どおり四月二日に入学式を行い、子ども学科百五十二名、人間介護福祉学科二十八名、オフィス人材育成学科六十六名、合計二百四十六名の新入生の皆さんを迎えて平成二十三年度がスタートしました。

「オフィス人材育成学科」は、本年度からスタートする新しい学科で、情報教育中心の学科との印象を強く与えていた「オフィス情報学科」を改称し、現

在のカリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーに即した名称としたものです。地域に貢献できる有為なオフィス人材を育成したいという学科の目的を、地域の皆様や受験生の皆様に基づさに理解していただければと願っています。

さて、文部科学省の「平成二十一年度大学教育・学生支援推進事業」のうち、「【テーマB】学生支援推進プログラム」に採択された本学の取組、「キャリアアカルテを用いた生涯就職支援システムの構築」は、試行期間を終え、本年度からは「高短キャンパスネット」として本格運用が始まっています。

このシステムは、本学の教職員が、一丸となって学生の学習やキャリア形成、就職活動等、学生生活全般に渡ってサービスに当たり、卒業後も就職等を生涯サポートしていくという、本学のエンロールメント・マネジメントの核となるシステムです。

このシステムの構築理念や機能については、他大学等からも高い評価をいただいているところですが、一番重要なのは、学生の皆さんと教職員がいかにこのシステムを使いこなすかということです。使いこなしをとおり、教職員が一丸となり、協働して一人ひとりの学生生活全

般をサポートすることが可能となります。このシステムの積極的な活用を願っています。

六月二日からは、本学の開放事業である、「おやこひろば たかたん」がスタートします。本学はこれまで、地域における子育て支援事業には積極的に参加してきましたが、このたび、育児文化研究センターの機能を生かして、本学独自の子育て支援センターを立ち上げることにしました。名づけて「おやこひろば たかたん」です。子育て支援団体はあちこちにありますが、今なぜ本学に「おやこひろば たかたん」なのか、つまり、この時期に保育者養成機関としての本学が子育て支援センターを開設する意義はどこにあるのか、この点を十分に検討しながら、本学ならではの子育て支援の機能を存分に発揮するとともに、学生に対する教育の場、子育て研究の場として活用していきたいと考えています。

本学の使命は、仏教精神に基づいて「やわらか心」の社会人を育成し、地域社会に貢献することにあります。学生の皆さんが本学の教育をおして、地域に要請される有為な社会人へと成長されることを願っています。

## 目次

|                    |    |
|--------------------|----|
| 学長のことは             | 1  |
| 学生生活紹介             |    |
| ・学生自治会             | 2  |
| ・新入生宿泊研修           |    |
| ・海外英語研修            | 3  |
| ・学生課・教務課の紹介        |    |
| ・高短キャンパスネット        | 4  |
| ・キャリア支援センター        |    |
| 学科記事               |    |
| ・子ども学科             | 5  |
| ・人間介護福祉学科          | 6  |
| ・オフィス人材育成学科        | 7  |
| ・教育研究施設等           |    |
| ・仏教文化研究センター        | 8  |
| ・図書館               |    |
| ・育児文化研究センター        | 9  |
| ・保健室               |    |
| 人事、同窓会近況           | 10 |
| 卒業生メッセージ、<br>貸借対照表 | 11 |
| 就職状況、編集後記          | 12 |

# 学生自治会

皆さんこんにちは。私たちは学生自治会執行部十二人です。私たちの活動は先輩たちと取り組んだ今年一月のTJC祭から始まりました。先輩方に企画してもらったTJC祭では学生の頑張っている姿や笑顔がたくさん見ることが出来、とても楽しい時間を過ごせました。先輩たちを送り出し、私たちも本格的に活動が始まりました。各学科のリーダーたちと毎週集まり、たくさんの方々の意見を出し合いながら学生生活がより良いものになるよう頑張っています。と思っています。

三月に起きた東北関東大震災では、たくさんの方々が命を落とされ、今もまだ避難生活に苦しんでいる方もみえます。そんな中、私たちは少しでも力になりたいと考え義援金活動を行いました。皆さんのご協力のおかげでたくさんの方々の義援金が集まり、岩手県陸前高田市にある高田高校に送られることになりました。ご協力ありがとうございました。その他にも節電や節水など、私たちの身の周りで出来る限りのことにも心がけていきたいと思っています。皆さんも自分たちに出来ることはしていきたいでしょう。一人一人の行動が大きな力になります。そして、高短の一大イベント

である高短祭に向けて動き始めています。まだまだ分からないことばかりで不安も大きいですが、新しいことに挑戦していきたいというみんなの強い意志もあり、日々話し合いを重ねています。皆さんのご意見やご要望も取り入れたらと思っていますので、気軽に私たちに声をかけてください。みんなで楽しい学祭にしましょう！今年の高短祭は、十月二十二日(土)、二十三日(日)に行われます。

私たちも、就職活動が始まり忙しい日々が続きますが、自治会活動も両立させていきたいと思っています。まだまだ未熟な私たちが、皆さんとよい良い学生生活を送れるよう私たちが頑張りたくて頑張っています。ご協力、ご支援、よろしくお願ひします。

◎私たちが執行部の活動内容

- ① 学生自治会の年間業務の企画・予算
- ② 高短祭の企画・実施
- ③ 卒業アルバム・編集
- ④ 謝恩会の企画・実施
- ⑤ クラブ部長会議・学生大会・自治委員会の開催
- ⑥ TJC祭の企画・実施
- ⑦ その他ボランティア活動など



## 平成23年度 新入生宿泊研修

学務委員長 高木 直人

今年の四月は例年と比較すると温度差の激しい日が続き、少し天候が不安定な中で実施されることとなりました。今年も例年実施されている、「白山ヴィレッジゴルフ倶楽部」で、四月二十七日から二十八日の一泊二日で実施しました。残念なことに、初日は午前中曇りで、午後からは激しい雨のため屋内での研修と限定されましたが、二日目は屋外での研修も実施出来ました。

【新入生宿泊研修の目的】  
この宿泊研修の目的は、学生同士の親睦を深めることです。普段の学生生活では体験することがない、高田短期大学に入学してきた全学生がこの宿泊研修に参加し二日間寝食をともに過ごします。

ここでの体験が学生にとって素晴らしい思い出になり、これからの学生生活がより充実したものになるように、教職員も力を入れて取組んで来ましたが、

【開講式】  
アザリアホールにて、一年生の学生全員参加を基本に開講式が実施されました。



【学科別研修会】  
それぞれの学科で検討された内容を、この宿泊研修で実施しました。

子ども学科  
一日目は、「すてきな保育者になるために」の研修会を受けて、午後からはパターゴルフの予定でしたが天候が不安定のためにDVD鑑賞に内容が変更されました。学生は屋外でのパターゴルフをやったようでした。二日目は、「つくって・あそんで・みせて2011」の研修を受けました。この二日間は子ども学科の学生にとっては、これから目指す幼稚園教諭や保育士への道に、確実な一歩踏み出したのではないのでしょうか？  
人間介護福祉学科  
一日目は、午前と午後を利用して、「多文化を知る」をテーマに研修に取組んでおりまし



た。二日目は、予定していたパターゴルフに挑戦し、さらにチームプレーを行なうことにより親睦を深めておりました。この二日間で、介護福祉士を目指す学生に必要なものは何かを知り、これからの学生生活をさらに充実したものにすることに思っています。

オフィス人材育成学科  
一日目は、午前と午後を利用して、「未来予想図(風呂敷利用と商品開発)」をテーマに研修に取組みました。一日目は、屋外でのパターゴルフで、さらに親睦を深めておりました。この二日間で、オフィス人材育成学科の学生たちは、学生同士の親睦をさらに強化し、ゼミ以外の新しい仲間をさらに増やし、充実した二年間の学生生活をこれから歩むための準備が出来たと思えます。

【無事に終了】  
学長が開講式で述べられた宿泊研修の目的である、「親睦を深める」は達成することが出来、病人もなく無事に終わることが出来てほっとしました。



海外研修を通して学んだことは、自分の中にある英語に対するイメージが変わったこと、そして聞きとる力が身に付いたように思います。最初は、言われていることが全くわかりませんでした。しかし四六時中英語に囲まれている環境にいと耳が慣れたのか、わからない英語の中から自分の知っている単語、言葉を少しずつ、自分の耳が拾うようになってきました。そして



て外国の人と会話をしている自分に驚きました。毎日英語に囲まれた生活を送ったこの十三日間は、自分の中でとても貴重だったと思います。

(北出利恵)

オーストラリアでたくさんのことを学んだ。その中でも特に心に残ったことは、人間性の豊かさである。オーストラリアの方々の明るい笑顔やフレンドリーに話しかけてくれる様子はとても嬉しくなるようなものであった。挨拶も「Thank you」もとても大切にされているようで、言葉のスキンシップが大切だということがよく分かった。お世話になったホストファミリーの方との繋がりを大切にしたい、オーストラリアで学んだことをこれからの人生に活かしていこうと思う。

(森田朱音)

私はオーストラリアでホームステイをして沢山のことを学びました。日本とは違った文化もその一つです。例えば、家族の在り方です。家族は皆仲良く、家の手伝いをしたり、食後は自分の部屋に籠らず、一緒に過ごすことが日常でした。私は英語があまりできませんが、分かりやすく紙に書いてくれたり、ジェスチャーなどで伝えてくれ

ました。学校でも友達ができ単語ですが会話をしました。また機会があればオーストラリアへ行きたいです。

(福田友紀恵)



## 学生課

学生の皆さんが、より豊かな大学生活を送るためのサポート機関、それが学生課です。学生生活に関する多くのことは学生課が窓口となっています。

具体的には各種証明書や鉄道の学生割引の申し込み、奨学金の相談、クラブや課外活動の諸手続きなどはここでを行っています。また保健室では学生の身体や心の健康についての相談等も受付けています。

## 教務課

昨年まで学生の皆さんに直接関係する手続きは【学務課】として窓口でサポートさせていただきました。今年度より【教務課】と【学生課】となりました。

二課体制となり、皆さんが戸惑うことになっては意味がないことです。多様化したつつある短大にあっても、皆さんが更なる利便性を感じることが出来ることを目標にしています。

教務課の業務内容は主に学

外国人留学生支援室も併設していますので、外国人留学生の生活支援に係る業務も行っていきます。

さらに、学生自治会をサポートし十月の高短祭や一月のTJC祭等の運営も行ないます。

学生課では皆さんの短大生活が有意義で実りのあるものとなるよう、スタッフ一同全力を尽くしてまいります。



籍管理、成績管理、時間割(授業)、履修、各種判定などで、学生の皆さんと直接コミュニケーションできる機会はありませんが、その中にもあってもなるべく多くの関わりを持ちたいと考えています。

皆さんと共により良い高田短期大学を築いてまいりましょう。







人間介護福祉学科  
学科長 千草篤磨  
現行の法律によれば、今年入学した一年生から制度が変わり、「卒業後に国家試験を受けて合格し、卒業することになる予定でした。従来は、卒業することで国家資格を得る」となっていたものが、今後は改めて国家試験を受けることが義務づけられようとしていたのです。私たちは、これらのことは介護福祉士の専門性や資質の向上にとって必要なことであり、大きな改善だと考えていました。

とところが、この資格取得方法について、国会や厚生労働省の関係機関等で、昨年様々な議論があり、結果として新制度の開始を三年間延期するという事になりました。私たちとしては、大変残念な出来事でした。人間介護福祉学科では昨年度より、「二年生後期に「人間福祉特論Ⅰ」と「人間福祉特論Ⅱ」という科目を新たに設置して、国家試験

の準備を進めることにしていたのです。

三年間延期となり、学科教員は肩すかしを食わされた形となりましたが、逆に「国家試験の研究に三年間じっくり取り組むことができる」と考えるようにしたいと思っています。三年後に入学してくる学生のために、教員も在学生も卒業生も協力してデータを蓄積していきたいと考えています。(なお、正確には「三年間延期」は、一七七回国会にて決定されることになっていま



高田短期大学に入学して  
人間介護福祉学科  
1年 瀧 雄斗  
私は高田高校出身で、何度かこの

高田短期大学にも訪れたこともありました。その時、自分の先輩にあたる短大の学生さんたちが、校舎の正面にある親鸞聖人像の前を通る時に像に向かって一礼をして通っていました。その姿を見て、短大の学生さんは素晴らしいなと思いました。私の家は、高田短期大学と同じ宗派のお寺です。やはり、お寺に参詣して頂く方々はお年寄りが多いです。そのお参りに来て頂く方々は、私にも優しく話しかけて下さり、楽しくおしゃべりし

て下さいます。そこで、この方々に何かあった時や不自由なことがあればお手伝いさせて頂ければと思ったことがきっかけで、介護の道へ進もうと人間介護福祉学科に進学を決めました。そして今では、毎日登下校時に親鸞聖人像に向かって一礼するようになり心掛け、実行しています。短大は高校とは違い、授業が九十分あり、なかなか授業が終わらなくて大変です。けれど今は、授業中での関わりなどもありクラスみんなが友達です。まだ、短大生活は一ヶ月ですが、短大での二年間でたくさん事を学び成長し、仲間との絆を深めていきたいと思っています。

私は将来、介護ができ、父のような立派なお寺の住職になることが夢であり、目標です。

**短大生活一年を振り返って**  
人間介護福祉学科 2年 川岸 悠衣

高田短期大学に入学して一年が経ちました。入学当初に行った白山での宿泊研修では、人間介護福祉学科のみんなが親睦を深められたと思います。とても良い思い出になっています。また、八月と十二月、三月の間に二回介護実習で施設に行きました。高齢者とのコミュニケーションはとても難しく日々悩まされました。二回目の実習



**超高齢社会を迎えて**  
中村 智子

日本は二十一世紀を迎える頃から少子高齢化が急速に進み、二〇〇八年には高齢化率が二十二・一％となり、超高齢社会に突入しました。今後はさらに進み、二〇三五年には高齢化率三十三・七％となることが予測されています。近い将来には、三人に一人が六十五歳以上になるといわれています。二〇〇五年には世界諸国の中で高齢化率が一番高くなり、人類がいまだかつて経験したことのない高齢社会を日本は迎えるといえます。

このような状況のなか、介護福祉士が担う責任や社会の期待は大きくなると思われま

先では、認知症の方が多く生活されていて、同じ事を繰り返して話される方とのコミュニケーションは自分自身とても苦手で話に耳を傾けながら接していく内に、苦手だったその方とのやりとりが楽しく感じられるようになりました。実習を体験し、自分の気持ちに変化したことがうれしく思い、こうやって楽しんで高齢者と関わっていききたいと思っていました。

実習では辛くて何度も逃げたいと思うこともあったけれど、人間介護福祉学科の仲間や先生、家族に支えられ、乗り越えることができました。これからの一年も仲間と支え合い、先生や家族に協力を得ながら、頑張っていきたいです。



## オフィス人材 育成学科



オフィス人材育成学科（オフィス情報学科）には、たくさんの方が資格を取得した学生や、難易度の高い資格を取得した学生を表彰する、スキルアワードという制度があります。この四月に優秀賞として表彰された方の中から、三名にお越しいただき、努力した点や一年生へのメッセージなどを話していただきました。



【写真左から】  
澁谷裕美さん、溝田実穂さん、  
瀨本ありささん、鷲尾敦学科長

**鷲尾**「皆さん、今回とても頑張つて色々な資格を取得されましたよね。まず、表彰された感想を聞かせてください。」  
**溝田**「がんばったことが評価されたので素直に嬉しかったです。図書券ももらえたい（笑）」  
**澁谷**「私はMOS（注…マイク

ソフトオフィススペシャリスト）を取ったのが三月末だったので、表彰してもらえるところは思ってたよりびっくりました。」  
**鷲尾**「皆さんがどんな資格を取ったのか改めて教えてください。」

**溝田**「秘書検定準1級と日商簿記3級、ワープロ検定と表計算検定の2級を取りました。」

**瀁本**「秘書検定準1級と日商簿記3級、それに漢字検定です。」  
**澁谷**「私はワープロ検定と表計算検定の1級、MOS（WORD）、情報系を中心に取りました。」

**鷲尾**「一年後期で秘書検定準1級を取るの大変だったと思いますが、どんな勉強をしましたか。」

**溝田**「筆記試験対策は、ひたすら過去問を解きました。面接対策は秘書学の授業で練習をした以外に、家で一人で練習したり先生からDVDを借りて一緒に検定を受ける友達と見たりしました。」

**瀁本**「面接対策には、授業で皆の前で練習したことが役立っていると感じています。」  
**鷲尾**「澁谷さんは表計算とワープロの1級を両方とったのがすごいことですよ。」

**澁谷**「分からない問題は友達と教えあったり先生に聞きに行ったりしました。それに、MOS

は受験料が高いので絶対受からなきゃ（笑）という気持ちで頑張りました。」

**鷲尾**「日商簿記3級合格のためにはどんな勉強をしましたか。」  
**溝田**「簿記の勉強を始めたのは入学してからなんですけど、最初から二月に取ることを目標にしていました。図書館にリクエ

ストした簿記の問題集を解いたりして、特に冬休みは自分でもびっくりするくらい勉強しました。簿記はパターンがほしいと同じなので、時間をかけるほどできるよになることが分かりました。」

**瀁本**「私は高校で簿記をやったんだけど嫌いでした（笑）。でも短大に入ったからには勉強しなければと気持ちを入れ替えましたね。」

**鷲尾**「検定に合格するための秘訣みたいなのはありますか。」  
**溝田**「やるときはやるということですね。ずっと勉強ばかりしていたら持ちませんから（笑）」  
**瀁本**「一緒に頑張る仲間を見つけてくださいね。皆頑張っているからプレッシャーを感じた（笑）」

**鷲尾**「最後に後輩へのメッセージを聞かせてください。」  
**溝田**「二年しかない短大生活なので今頑張らなくていつやるんだという気持ちを持ってほしい。短大は高校までとは違って

## 研究余滴



再考すべき経済・企業活動  
杉浦 礼子

「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。淀みに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたる例なし」で始まる『方丈記』。大地震をはじめ、竜巻や火災など、作者である鴨長明が生きた時代の天変地異が詳細に書き認められている作品です。私は、東北地方太平洋沖地震に端を発した東日本大震災の映像を目にした時、自然の力の大きさに驚愕するともに、方丈記の冒頭を思い出しました。成熟社会に突如発生した大震災で無常

観を感じた人も多いと思えます。

日本は、古より自然と調和を保ちながら経済活動を行い、成長を遂げてきましたが、近年、その調和が崩れていると指摘され危惧されています。

「利益最優先で良いのか」、「GDPの意義は何か」など再考すべき点が多くあります。企業のマーケティング活動においては、利益の最大化から最適化へ、顧客志向から社会志向へのシフトがみられ、CSRを重視する企業も多くなってきました。震災後は、社会貢献と企業目標を共に実現するコーズ・リレーティッド・マーケティングが脚光を浴びています。復興にむけた経済活動が活発化する今、持続可能な社会の実現を目指した企業活動の在り方を再考する場が増大することを期待します。

## ■スキルアワード表彰式

四月十二日(火)、新二年生全員でスキルアワード表彰式を行いました。今回は、平成二十二年後期の実績を対象として、優秀賞八名、特別賞三名の学生が表彰されました。



仏教文化研究センター

センター長 采肇 真澄

平成二十四年四月、いよいよ高田本山では親鸞聖人の70回遠忌報恩大法会が行われます。その前年度に当たる本年、高田短期大学仏教文化研究センターではその記念として、ご本山との共催で公開講座を開催することとなりました。講座は全部で六講座、お招きする先生方も著名な方々ばかりです。皆様どうぞご期待下さい。

また公開講座とは別に平成二十年度から取り組んできました「仏教入門講座」ですが、おかげさまでスタートして九二年

付属図書館

図書館には学生の皆さんの勉強や実習に役立つ本がたくさんあります。レポート作成のための資料、実習に使える実用的な本、資格を取るための問題集の貸出や、先輩方の卒業レポートを閲覧することが出来ます。図書館に無い本や問題集はリクエストを受け付けていますので、ぜひ活用してください。

また、図書館には皆さんに楽しんでもらえるような雑誌



や、CD・DVDなどの視聴覚資料もあります。授業の合間や昼休みなど、時間のあるときに図書館で利用してください。

図書館は一般開放もしており、卒業後も利用できます。詳しくはホームページをご覧ください。

を迎え、花岡大学先生が著された仏典童話『消えない声』全二十四話を題材として読破いたしました。今年度からは新しく仏教讃歌を題材として、これまでと同様に入門講座らしく、分かりやすい内容を心がけて進めてまいります。

専門研究においては、平成十九年度から『顕正流義鈔』を活字化して頭注・補注・現代語訳を附した、西岸寺本の影印版、研究論文を内容とする研究書の発行に向けて共同研究を進めてきました。こちらはあと一息のところまで来ており、研究員の先生方は気迫のこもった議論を繰り返されております。

平成二十年度に、幼児期の仏教精神に基づいた人間教育の方法を提案すると共に、実際に子どもたちの柔らかな心の育成を支援したいとの考えから、仏典童話人形劇サークル「縁起人」(えんぎんちゆ)を立ち上げました。昨年度は有志学生十六名(子ども学科一年生二名・二年生十名、オフィス情報学科一年生四名)が集まって人形劇を作成・公演させていただきました。大変ご好評をいただきました。学生が活動を通して様々なことを学ばせていただき、地域のニーズにも応えていけるこの活動は、今後も長く続けて行きたいと考えています。

なお、本年度の各行事及び講座の日程は以下の通りです。



仏教行事

- ・ 宗相降誕会(一般開放します)
- 5月16日(月)14時50分～16時10分
- ・ 灌 仏 会(一般開放します)
- 6月20日(月)14時40分～16時10分
- ・ 追 弔 会
- 10月17日(月)14時40分～16時10分
- ・ 報 恩 講(一般開放します)
- 12月12日(月)14時40分～16時10分

仏教文化研究センター親鸞聖人70回遠忌記念公開講座

- ・ 第1回講座
- 7月8日(金)13時30分～15時30分
- 講師・青山 俊董 氏(特別尼僧堂堂長、正法寺住職、無量寺住職)
- ・ 第2回講座
- 9月16日(金)13時30分～15時30分
- 講師・廣瀬 郁美 氏(奈良国立博物館文化大使、仏像ガールの名で活躍中)
- ・ 第3回講座
- 10月7日(金)13時30分～15時30分
- 講師・金光 寿郎 氏(元NHKチーフディレクター)
- ・ 第4回講座
- 11月11日(金)13時30分～15時30分
- 講師・阿満 利磨 氏(明治学院大学名誉教授)
- ・ 第5回講座
- 12月16日(金)13時30分～15時30分
- 講師・関山 和夫 氏(京都

仏教入門講座

- ・ 西山短期大学学長
- ・ 第6回講座
- 1月27日(金)13時30分～15時30分
- 講師・西山 厚 氏(奈良国立博物館学芸部長)
- ・ 第1回
- 4月19日(火)15時00分～16時30分
- 講師・新 光晴
- ・ 第2回
- 5月20日(金)15時00分～16時30分
- 講師・金信 昌樹
- ・ 第3回
- 6月24日(金)15時00分～16時30分
- 講師・藤田 正知
- ・ 第4回
- 7月12日(火)15時00分～16時30分
- 講師・清水谷 正尊
- ・ 第5回
- 8月25日(木)15時00分～16時30分
- 講師・松山 智道
- ・ 第6回
- 9月22日(木)15時00分～16時30分
- 講師・栗原 廣海



## 育児文化研究センター

センター長 福西 朋子

子ども、子育て、子育て支援をキーワードに現代日本では、まさに多種多様な事業、活動、そして、施策が行われております。しかし、このような風潮に流されて、子育てに大切な何かを置き去りにしているのではないかと自身も振り返ることがあります。

大学と地域社会、子育て家庭をつなぐセンターとしてのよい方向を探りつつ、今年度も歩んでいきます。

### ○平成二十二年度を振り返って

昨年度の取組みとして、まず挙げられるのが、「元氣っ津まつり2010」に参画したこと

です。地元津市、津市子育て・子育て支援会議主催の取り組みで、本学がコアメンバーとして企画からかわりました。本学学生も四〇名ほどが参加し、あそびブースでバルーンアートやアイロンビーズ製作、的投げあそび、屋外では親子のパラバルーンあそび、また、子育て相談サポートや仏文センター人形劇サークルによる公演などで大活躍し、親子のみなさんに大いに楽しんでいただきました。地域の活動

に参画・参加することで今求められている子育て支援について一考する機会ともなりました。

その他、通例の取り組みとして「定例研究会」の開催、「子育て応援隊」の活動等を行いました。定例研究会三回目には、仏文センター人形劇サークルの取組みをテーマに行いました。地域における人形劇公演の意義と学生の学びについての内容で、実際に学生による公演もあり充実した研究会となりました。また、昨年より子育て応援隊の核メンバーとしての位置づけで「たかたんサークル」を立ち上げました。子育て支援センターにあそびのプログラムを携えて訪問したり、研究員とともに音楽あそびのステージを企画し公演したりしました。

### ○今年度取組にあたって

「研究と地域連携・貢献を両輪としたセンター活動をを行うための体制づくり」を目指し事業を進めていきます。

通例行われている定例研究会の充実や研究員によるグループ研究推進など、研究員・客員研究員の研究活動充実のための支援と昨年度に引き続き参画する「元氣っ津まつり2011（十月三十日開催予定）」をはじめとする地域子育て支援団体との連携活動、そして、センター新

事業である地域開放事業の運営と活動の基盤づくり、これらに重点を置いて取組んでいきます。

### ○地域開放事業「おやこひろば たかたん」が始まりました。

今年度から学内施設「育児文化室」を親子のみなさんが集えるひろばとして開放することとなりまして。「親と子がまわりとつながるためのひろば」をテーマに、親子の交流・活動の場の提供、研究員・客員研究員による子育て講座・子育て相談、活動の情報発信を行っていきます。研究・教育機関に開設されるひろば、すなわち研究のフィールドとして、また学生の子育てや子育て支援に関する学びの場としても位置づけています。



## 保健室

「静養室」というお部屋を、ご存知ですか？

この静養室は、保健室の前に有り、麻疹（はしか）やインフルエンザなど、他人に感染させる疑いがある時などに隔離室として、そして、ここが不安定な時に「ちょっとホッと場所」としてのお部屋でもあります。

勿論、保健室では、体調不良やけがなどの対応や、卒業後も役立つ健康管理方法の話もします。また、秘密厳守で悩みも聴きます。さらに学外のカウンセラーへのつながりも行います。

この二つの部屋は、学生さん一人ひとりが、より健康に楽しい短大生活を送るために活用できるお部屋です。遠慮せず来室してください。

いつも保健室に看護師が居て、皆さんと一緒に「自分の身体は自分が守る」ということを、考えて行きたいと思っています。

皆さんも自分が持っている「生きる力」を見つけてください。

卒業生の方も利用できます。ご連絡を待っています。

☎059-253-7031  
Eメール mori@takada-jc.ac.jp

今年度、新しく運営スタッフとして二名の方々をセンターにお迎えしました。子育て支援の現場経験を有されひろばをともし盛り上げていくための頼もしいスタッフです。そのうち一名の方は、本学卒業生である笠原美穂さんです。樹心同窓会の役員もされています。

また、同じく卒業生で現在、イラストレーター、あそび作家として活躍中の浦中こういちさんとひろばのイメージキャラクターのイラストを作成していただきました。でんしゃの形のキャラクターでコンセプトが

「たくさんのひととの出会いをつなげるすてきなでんしゃ」です。このひろばを介して親子はもちろん、ひろばにかかわるみなさんがつながりあって、のびのびとすくすく子どもが育つ、安心して楽しく子どもが育てられる地域社会の一端を担えますようお願いを込めて、活動をしていきます。

どうぞ、ご支援のほどよろしくお願ひします。



「ひろばキャラクター」 たんたん

## 着任のみなさん



**学び続ける  
保育者の育成を**  
子ども学科  
柳瀬 慶子

四月より子ども学科で、「幼児体育」「身体表現指導法」を担当させていただくことになりました。子どもが夢中になる運動遊びの世界づくりを通して、子どもと共に、探究心をもって学ぶ保育者の育成に尽力してまいります。よろしくお願致します。



**より豊かな心の育みを**  
人間介護福祉学科  
金信 昌樹

四月より人間介護福祉学科に所属し、仏教学Ⅰ、同Ⅱ、東洋・日本仏教史、仏教保育等を担当させていただきますことになりました。仏教の慈悲の心を通して学生がより深く広い心を育み介護や保育に役立てられるように努めていきたいと思っております。



**主体的な学びの支援**  
オフィス人材育成学科  
野呂 健一

四月からお世話になっております。国語表現法やプレゼンテーション等を担当

します。自分の意見や考えを適切に相手に伝えられる、真のコミュニケーション能力を身につけていただきたいと考えております。どうぞよろしくお願いたします。



**笑顔で卒業を**  
キャリアサポート長  
松下 正治

昨年十月からキャリア支援センターで、求人企業開拓とキャリアアカウンセリングを担当させていただいております。

学生の皆さんには、笑顔で卒業できるよう就職支援に微力ながらお役に立ちたいと思っております。宜しくお願致します。



**私の思い**  
学生課係長  
増亦 浩一

四月より学生課にお世話になることとなりました。「やわらか心」で学生の皆さんに接すると共に、これまでの経験に基づく現代社会の実情等を伝えていきたいと思っております。私を育ててくれた高田学苑への恩返しという意味でも頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。



**向上心を忘れずに**  
兼門 里紗  
教務課

四月より教務課でお世話になることとなりました。三月まで中・高の庶務課でお世話になっておりました。同じ事務でも仕事内容の違いに日々勉強の毎日ですが、早く皆様のお役にたてるように日々精進して参りますのでよろしくお願いたします。



**着任にあたり**  
阿部 慶子  
教務課

「たった一度の人生 やり直しのできない今日 取替えのきかない私」この言葉に出会いました。周りの全てのものに生かされている自分。毎日の生活に感謝し、自分らしく一日一日が有意義なものとなるよう精進したいと思っております。

### 着任にあたり

カウンセリング室  
西出 美紀子

四月よりカウンセリング室を担当させていただきましたことになりました。新しい出会いを大切に、少しでもみなさまのお役に立てるようがんばっていききたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



**笑顔いっぱい**  
親子広場  
小倉 知子  
育児文化研究センター

「おやこひろば」を運営させていただくことになりました。参加者・スタッフ・学生皆が共に学び合うことが出来るような「場」作りを考えながら準備しています。どうぞご指導よろしくお願致します。



**手をつないで  
歩いていこう**  
笠原 美穂  
育児文化研究センター

保育士への夢を追いかけて、夢中で過ごした二年間。思い出さばいばいの母校高短。「ただいま」三児の母になってまたお世話になります。夢いっぱいのお話になります。夢いっぱいのお話を皆さんと一緒に、親子ひろばを創っていただけることを、とても楽しみにしています。

### 《平成23年度 人事》

|           |        |
|-----------|--------|
| 教 授       | 榊原 尉津子 |
| 教 授       | 首藤 善樹  |
| 准 教 授     | 小田 義隆  |
| 准 教 授     | 平田 祐子  |
| 事務局学務課学務係 | 堤 良子   |
| 事務局学務課学務係 | 北角しのぶ  |

## 同窓会の近況

北端 一子

昨年の三月に無事退職を迎え、家で一年間、田や畑に行つて過ごしました。四十年という長きに渡り勤めを全う出来た事は、支えてくれた家族の応援なればこそと、思い出しながら感謝の一年を過ごしました。退職をした当初は、最後に務めた保育園のことばかり考えていました。不思議なものですね。当たり前の毎日が、突然考えなくともよくなった事が、頭では分かっているも考えてしまう現実が戸惑っていました。一年が過ぎるとようやく落ち着いてきました。みなさんのご協力に、感謝・感謝でいっぱいです。ありがとうございます。

さて、同窓会短大会は、今年も高短祭でバザーを計画しております。バザーの収益金は、同窓会開催の通信費の一部に使っていただきましたが、メールの活用から通信費だけでは使えないので、今年から会場費やプレゼント代など、飲食費以外の費用に使ってもらったかどうかということになりました。理事の皆様には、十月頃には、申請用紙などを入れた書類を送らせていただきます。多くのクラスの同窓会に活用をしていただければと思います。また、高短祭には、参加していただきませうように、バザーへの品物の協力もよろしくお願いたします。

## 卒業生からの メッセージ

- ①勤務先
- ②就職して嬉しかったこと、辛かったこと
- ③将来の夢
- ④高田短大とは
- ⑤先輩へのメッセージ

### 「保護者という夢を叶えて」

子ども学科 平成22年卒

波多 沙織



①宜真学園第二さくら幼稚園②嬉しいことは日々子どもたちの笑顔に出会えることです。その笑顔を見る度、今日も明日も頑張ろうと働くエネルギーがみなぎってきます。子どもの頃からの夢である仕事につけ、様々な体験をすることが今は楽しくてしかたありません。辛いことはありますが、学生の頃とは違い、実際にクラスをもち保育を進めていくことの難しさは感じていません。③技術や能力だけにとらわれた保育ではなく、心から子どもたちを愛し、心の通った保育をすることができる保育者になりたいと思っています。また、先生と呼ばれる職である以上、驕ることなく常に謙虚な気持ちで忘れずにいたいと思います。④夢を実現できた場所であり、

同じ夢をもつ仲間に出会えた素晴らしい場所でもあります。⑤高田短大での学びは全て働いてから活かされます。二年間のこの貴重な学びを沢山身に付けて、自分のものにしていくってください。

### 「日々努力」

オフィス情報学科平成22年卒

船木 郁美

①株式会社第三銀行②常に私を気にかけてアドバイスをしてくださる上司や先輩、信頼できる同期に囲まれ、心から好きだと思える仕事に出会えた日々実感しています。また、小さなことでも「船木さんお願いね。」と先輩から仕事を任せられたとき本当に嬉しいのです。③資格取得や日々の業務の中で得た経験を活かし、お客様からの質問やご要望に応え、信頼される行員になることです。④先生方とは友達のように距離が近く、何でも話せるとても暖かい場所でした。時には厳しく指導し、私たちのやる気を引き出してくださったおかげで、オフィスワーカーとしての知識や技能をしっかりと身に付けることができ、人事の方から「パソコンを使わせたら同期95人の中で1番。」と言っていたことができました。⑤学生だからできることを見つけて今を精一杯楽しみ、

学んでください！

### 介護福祉士としての第一歩

人間介護福祉学科平成21年卒

山中 美咲



①高田福祉事業協会高田光寿園②利用者と関わる中で、とても嬉しそうな笑顔、日常の何げない会話の楽しさに触れた時、この仕事の楽しさ、やりがいを実感しました。しかし、介護福祉士として未熟な為、利用者一人ひとりの依頼に対して十分に答えられないことも多く、日々勉強であると感じます。③利用者一人ひとりの意に沿う介護ができ、安心して生活してもらえようように成長していきたいです。④介護福祉士の資格を取るために施設実習に行きました。辛いこともありましたが、友達や先生方、施設指導者に支えられ、人との出会いで身につけたことが沢山あり、その機会を与えてくれた短大です。⑤私を待っている利用者があると感じられることがこの仕事の魅力です。一般常識が身につく、気配り、目配りのできる人を目指して、私も頑張っているところです。私と同じ道に進んでくれる仲間を待っています。

## 公 告

平成22年度における学校法人高田学園の決算は次のとおりですので、当学苑寄附行為第40条の規程に基づき公告いたします。

### 貸借対照表 (平成23年3月31日)

(単位：円)

| 資産の部         |                 |                 |                | 負債の部                   |                  |                  |                |
|--------------|-----------------|-----------------|----------------|------------------------|------------------|------------------|----------------|
| 科 目          | 本年度末            | 前年度末            | 増 減            | 科 目                    | 本年度末             | 前年度末             | 増 減            |
| 固定資産         | (8,292,962,128) | (8,640,952,543) | (△347,990,415) | 固定負債                   | (291,727,644)    | (702,072,589)    | (△410,344,945) |
| 有形 固定 資産     | (7,159,947,938) | (7,358,741,525) | (△198,793,587) | 長期借入金                  | 0                | 400,000,000      | △400,000,000   |
| 土地           | 861,621,227     | 860,411,227     | 1,210,000      | 退職給与引当金                | 291,727,644      | 302,072,589      | △10,344,945    |
| 建物           | 5,056,913,984   | 5,162,137,175   | △105,223,191   | 流動負債                   | (819,069,704)    | (724,416,484)    | (94,653,220)   |
| 構築物          | 843,916,918     | 912,795,338     | △68,878,420    | 短期借入金                  | 400,000,000      | 300,000,000      | 100,000,000    |
| 教育研究用機器備品    | 148,994,250     | 175,735,665     | △26,741,415    | 未払金                    | 36,893,318       | 39,503,728       | △2,610,410     |
| その他の機器備品     | 9,187,498       | 7,974,653       | 1,212,845      | 前受金                    | 299,793,135      | 307,683,335      | △7,890,200     |
| 図書           | 205,774,583     | 201,977,989     | 3,796,594      | 預り金                    | 24,455,075       | 24,638,837       | △183,762       |
| 車 輛          | 3,620,000       | 7,790,000       | △4,170,000     | 修学旅行費預り金               | 54,544,176       | 49,218,584       | 5,325,592      |
| 学苑林          | 29,919,478      | 29,919,478      | 0              | 卒業諸費預り金                | 3,384,000        | 3,372,000        | 12,000         |
| その他の固定資産     | (1,133,014,190) | (1,282,211,018) | (△149,196,828) | 負債の部合計                 | (1,110,797,348)  | (1,426,489,073)  | (△315,691,725) |
| 借地権          | 2,257,500       | 2,257,500       | 0              | 基本金の部                  |                  |                  |                |
| 電話加入権        | 1,285,980       | 1,285,980       | 0              | 科 目                    | 本年度末             | 前年度末             | 増 減            |
| 施設利用権        | 1,063,300       | 1,144,010       | △80,710        | 第1号 基本金                | 10,620,252,283   | 10,207,766,287   | 412,485,996    |
| 有価証券         | 3,838,498       | 3,838,498       | 0              | 第4号 基本金                | 150,000,000      | 150,000,000      | 0              |
| 差し入れ保証金      | 350,000         | 350,000         | 0              | 基本金の部合計                | (10,770,252,283) | (10,357,766,287) | (412,485,996)  |
| 退職給与引当特定資産   | 312,490,000     | 312,490,000     | 0              | 消費収支差額の部               |                  |                  |                |
| 施設設備拡充引当特定資産 | 584,570,000     | 673,192,500     | △88,622,500    | 科 目                    | 本年度末             | 前年度末             | 増 減            |
| 長期火災保険特定資産   | 220,193,020     | 278,794,380     | △58,601,360    | 翌年度繰越消費支出超過額           | 3,224,508,802    | 2,815,948,675    | △408,560,127   |
| 長期前払金        | 6,965,892       | 8,858,150       | △1,892,258     | 消費収支差額の部合計             | (△3,224,508,802) | (△2,815,948,675) | (△408,560,127) |
| 流動資産         | (363,578,701)   | (327,354,142)   | (36,224,559)   | 科 目                    | 本年度末             | 前年度末             | 増 減            |
| 現金預金         | 223,792,372     | 156,074,464     | 67,717,908     | 負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計 | (8,656,540,829)  | (8,968,306,685)  | (△311,765,856) |
| 未収入金         | 80,457,806      | 118,109,552     | △37,651,746    |                        |                  |                  |                |
| 立替金          | 1,067,380       | 0               | 1,067,380      |                        |                  |                  |                |
| 修学旅行費預り資産    | 54,544,176      | 49,218,584      | 5,325,592      |                        |                  |                  |                |
| 卒業諸費預り資産     | 3,384,000       | 3,372,000       | 12,000         |                        |                  |                  |                |
| 前払金          | 332,967         | 579,542         | △246,575       |                        |                  |                  |                |
| 資産の部合計       | (8,656,540,829) | (8,968,306,685) | (△311,765,856) |                        |                  |                  |                |

# 就職先等一覧

## 子ども学科

### ◆幼稚園(公立)

志摩市立神明幼稚園、津市立大里幼稚園、津市立のむら幼稚園、松阪市立松尾幼稚園

### ◆幼稚園(私立)

エンゼル幼稚園、津西幼稚園、百合幼稚園、第二くら幼稚園、第二さくら幼稚園、津田桑名幼稚園、津田三滝幼稚園、津田第一幼稚園、津田第二幼稚園、つづじが丘幼稚園、ときわ幼稚園、羽津文化幼稚園、ふたば幼稚園、まきば幼稚園、和順幼稚園

### ◆保育園(公立)

大台町立三瀬谷保育園、亀山市立関保育園、亀山市立第一愛護園、菰野町立竹永幼稚園、鈴鹿市立牧田保育所、玉城町立田丸保育所、玉城町立下外城田保育所、津市立高茶屋保育園、鳥羽市立あおぞら保育所、松阪市立駅部田保育園、松阪市立春日保育園、松阪市立西保育園、明和町立みどり保育所

### ◆保育園(私立)

あおい保育園、あけの保育園、曙保育園、旭ヶ丘保育園、有滝保育園、泉ヶ丘保育園、いずみ保育園、いそやま保育園、一色保育園、えがお保育園、風の丘藤水保育園、風の子藤水保育園、片田保育園、川崎愛児園、かわしま保育園、河原田保育園、岸

田保育園、くすのき保育園、くまだ保育園、ぐみの木保育園、公園西保育園、光陽保育園、さくら保育園、しまの杜保育園、白塚愛児園、白鳩保育園、水沢保育園、大安中央保育園、第二石薬師保育園、たけのこ保育園、竹野の森こども園、長寿保育園、津愛児園、つ保育園、豊野保育園、ながさわ保育園、長田保育園、長太の浦保育園、西京極保育園、野町保育園、ハートピア保育園、久居保育園、ひばり保育園、富貴の森保育園、フジ保育園、藤水保育園、松阪仏教愛護園、三重保育園乳児保育所、三重保育園、美里さつき保育園、みらいの森ゆたか保育園、明和ゆたか保育園、杜の街ゆたか保育園、四日市厚生会保育園、わか

### ◆福祉施設・院内施設等

主人公やよい生活支援サービス、里山学院、しらさぎ園、真盛学園、聖母の家、名張育成園、名張養護学園、白清舎、ハッピータウン農場福祉工房、聖の家、アトチャイルドケア、鈴鹿サーキットフラワーガーデンホテル、ヤナセクリニック

### ◆企業等

高知総合リハビリテーション病院、ホームテクノ東海、イセツト、神宮支庁、中辻医科器械、名古屋アンパンマンこどもミュージアム、パセリハウス

◆進学等  
愛知学泉大学家政学部、相山女学園大学人間関係学部

## 人間介護福祉学科

### ◆老人福祉施設

しおりの里、太陽の里、第二嘉祥苑、第二岩崎病院、万葉の里、野村さほう苑

### ◆障害者支援施設

風の丘、垂坂山ブルーミングハウス、大連新起点肯納学園(中国)

### ◆進学等

嘉悦大学経営経済学部、鈴鹿国際大学国際人間科学部、帝京大学経済学部、同朋大学社会福祉学部、広島文教女子大学人間科学部、山野美容専門学校

## オフィス情報学科

### ◆建設業

北村組、日本空調三重、白川建設、トレジャーホーム

### ◆製造業・情報通信業

うおすけ、オクノテック、サイネックス、住友電装、中広、林口工業

### ◆運輸業

三徳、橋本商事冷凍輸送、近物レックス

### ◆卸小売業

石井燃商、ウチゲン、ウッドベル、ティイガイヤ、ダイヤ燃商、松阪木材、御木本真珠島

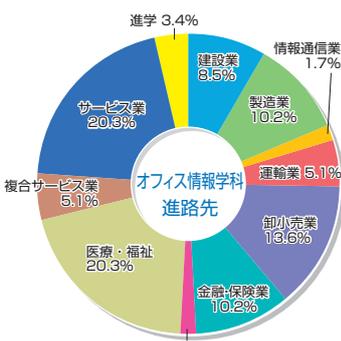
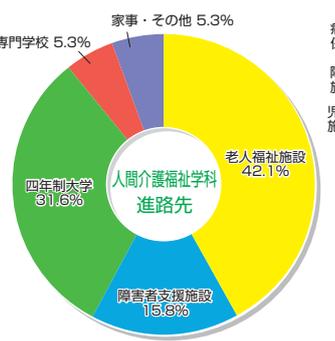
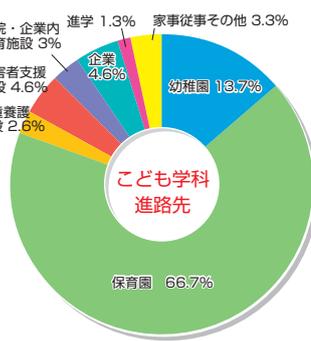
### ◆金融・保険業

第三銀行、百五銀行、三重銀行、三重銀カード、富国生命

◆教育学習支援  
高田学苑

## 医療・福祉

岩間眼科、大木歯科医院、鈴鹿グリーン歯科、特別養護老人ホーム



◆医療・福祉  
高田学苑、岩間眼科、大木歯科医院、鈴鹿グリーン歯科、特別養護老人ホーム

## ◆サービスマ

アクアプランネット、インターネットプランニング、伊勢湾務管理事務所、伊勢湾マリン開発、荏原フィールドテック、キング観光、J A津安芸、J A三重中央、賃貸マイト、トヨタレンタリース三重、パナソニックテクニカルサービス中部社、百五スタッフサービス、プラザ洞津

### ◆進学等

鈴鹿国際大学国際人間科学部、三重大学人文学部

## ◆編集後記

この度高田短期大学通信第46号発行に際し、ご投稿にご協力頂きました各位に感謝申し上げます。

今号は表紙のロゴを新たに学生の応募作品で飾り、高短キャンパスネットの紹介、海外英語研修報告、各学科の特色、各研究センターの最新情報など、着実に前進する本学の現状を詳しく掲載しました。ご高覧いただき、今後ともご意見ご支援を賜りますようお願いいたします。

\*「高田短期大学通信」一題字は、創作コンクールの審査の結果、子ども学科一年 濱口彩加さんの作品が選ばれました。